



高 警 口

東京通信隊・聯合艦隊口・佐鎮口
石垣島警備隊

官古島警備隊

機密第一四二〇一八番電

十四日戦闘概報

敵艦上機（米國標識）延五十三機八乃至一六機編隊ヲ以テ〇六〇
〇〇八四四 一三五五 一七三五ノ四次ニ直リ來襲陸海軍飛行
場ヲ襲撃スニ乃至四機編隊ヲ以テ數次ニ直リ上空哨戒在空時間
概ネ一時尙午及至二時間戦果被害ナシ。

通八二三七

天二〇八（五二〇）（KC）佐進 磯野（細川）

昭和廿年五月拾六日

3~15

1161

昭和廿年五月拾六日

三一五 受信〇四四〇 譯了〇九五〇 電〇七三八八 作 概
至 急 譯始〇七五〇〇

作

高

通

石垣島警備隊

東通・佐通・聯合艦隊口・宮古島警備隊・沖根

機密第一四二二三五番電 二分ノ一

十四日戰聞概報

〇六四〇ヨリ一二三〇迄敵戰爆聯合四乃至一三機數次ニ亘リ延八五

機概ホ北東ヨリ來襲陸海軍飛行場砲臺銃爆撃ノ後東方ニ去カ一四一

五ヨリ一七四〇迄數回何レモ島周邊雲上ニ爆音ヲ聞クモ天候不良ノ爲

爲敵ヲ見ズ一三〇PBM一機南東海面ニ着水墜機搭乗員救助直

ニ着手後墜落現地所在

(電信課註)

本電二分ノ二未着
本電誤字極メテ多シ

通八二〇七

天二一Bケ六(四七〇五EG) 高通

咲花(川崎)

昭和廿年五月拾六日

五 一五 受信〇四〇五 譯了〇九五六 電〇七三六九 作概

至急

符 共



天作部隊戰國樞報着信艦所

機密第一四二二〇二番電 五分ノ一

TB P 戰國樞報其ノ二(十四日二〇〇〇)

十三日陸上攻撃機二飛行艇二機ヲ以テ敵機動部隊夜間索敵ヲ實施ス

一四〇地點「ヒカネ三六テ」及〇一三〇地點「ワイ一タ」ニ於テ敵機

動部隊ヲ發見更ニ二三〇五地點「ソエ四エ」及地點「ロイ四ケ」ニ於

テ大部隊探知ス

三カワチニ灣攻撃隊重爆撃機一二銀河五機ヲ以テ二一四〇地點「ヒカ五

ソ」ノ敵航空母艦群ニ對シ攻撃指回内五機雷撃終了ヲ報ゼシモ戰果不

明ナリ。

一電信譯註 本電五分ノ三、四、五號印布

通八一八七 呂一Bケ(一一) KO(一) EFG B 放 水野(島田)

1912

5 ~ 15

五一五

受信 〇〇六五〇八

譯了 〇七二七

電 〇七二九二

作 統

至急

共符



天航空部隊戦闘概報着信箇所

機密第一四二二二〇二番電

五分ノ二

莫ニ夜戦八機ヲ以テ九州南方一五〇進圏内ノ索敵攻ヲ實施セル
モ敵ヲ認メズ

三十四日黎明發進爆戦二八機制空零戦隊四〇機ヲ以テ敵機動部隊索
敵攻撃ヲ實施ス空母ニ突入ヲ報セシモノニ制空隊ハ〇六五五坊
ノ岬六四度一二〇進附近ニ於テ敵機動部隊(一群)ニ巡洋艦八隻
二群大空母二乃至三其ノ他十數隻)ヲ發見
〔電信課註 本電源分ノ四五既配布五分ノ二三未着〕

通八二一九

呂一Bヶ七

(七九七〇)

KG) 七FGB放

筒井 (瀬川)

昭和十一年五月拾五日

五 一五 受信〇〇四一八 譯了〇八五九 電〇七三三七 作 概
至 急



天作戰部隊戰術概報着信處所

共 符

機密第一四二二〇二番電 五分ノ三

上空ニテP六P一敵機ト交戦トルモ戦果不明

四條明特攻ニ策應彩雲二機敵機動部隊索敵ノ爲發進〇七三五地點「ワカ

ニイ」ニテ空母ヲ含ム敵部隊ヲ發見トルモ爾後連絡ナク未歸還更ニ銀

河一機紫電一機ヲ以テ特攻戰果偵察並ニ索敵實施トルモ故障等ノ爲敵

情ヲ得ズ。 (東通註 本電誤字極メテ多シ)

(電信課註 本電五分ノ三四五既配布五分ノ一未着)

通八一九三 呂一Bケ七(七八七五K)一KFGB放傳崎(新井)

昭和廿年五月拾六日

5-15

1915

至 急

受信〇〇一四一
譯始〇四一〇
譯了〇四三五
電〇七七二三
〇七七二四
〇九

昭和廿年五月拾五日
作 概



○

天航空部隊戰關概報着信艦所

井

符

機密第一四二二〇二番電 五分、四五

更ニ彩重二機索敵ヲ實施一五二〇地點「ヒヲ匹々」ニテ正規航空母艦
二隻時空母一隻戰艦一隻其ノ他十數隻進行方向南西及一六五〇地點
「ムエ二子」空母一隻以上ヲ含ム敵部隊ヲ發見セリ

五銀河一五機艦艇一二機ヲ以テ一六〇〇發進薄暮時攻ヲ企圖セルモ發進
中五六日四機ノ被爆ニ依リ發進遲延攻ヲ取止ム

六天候不爲ノ爲本日ノ夜甲攻艦ヲ取止ム

七銀河發進時被爆ニ依リ被害銀河一隊攻一發上陸攻一大破塔乘員一名戰

外其ノ他戰報

一電信譯註 本電五分、一六三三未着
八一一四八 一四一七(三九三七) 五KC 一RFB放 加賀(五)鳥

5-15

1916

至 一五 急

受信一三四七〇
譯始一四三七〇

譯了二四〇〇 電〇七六七五

參作 本概

昭和廿年五月拾六日

沖 根



天一號作戰部隊

密第一四二三一七番電 二分ノ一

戰圖概報第四九號

一、天久・眞嘉比方面ノ陸上戰鬪ハ漸ク熾烈化シ敵艦艇ノ第一線障地
及那覇小祿地區ニ對スル射撃モ益々強化セラレツツアリ午前小祿
那覇正面ニ對シ上陸用舟艇十數隻游弋セルヲ以テ警戒ヲ嚴ニセリ
友軍障地ニ對スル敵ノ來襲機ハ延七一機ナリ。

(電信譯註 本電二分ノ二筋記布)

通八三四八 呂一Bケ七 (九丁四五IC) 高二波 楠本 (雨谷)

停

五 一五 受信 〇〇六一〇〇 譯了 一〇三五 電 〇〇七三六一 參作 本概

天一號作戰部隊

沖 根

機密第一四二三一七番電 二分ノ一二

戰國概報第四九號

一、天久、眞嘉比方面ノ陸上戰國ハ漸ク熾烈化シ敵艦艇ノ第一線陣地及那
 湖小祿地區ニ對スル射撃モ益々強化セラレツツアリ午前小祿那覇正面
 ニ對シ上陸用舟艇十數隻游弋セルヲ以テ警戒ヲ嚴ニセリ友軍陣地ニ對
 スル敵ノ來襲機ハ延七一機ナリ

二、昨夜「天久」方面ニ進出セル艇進斬込隊中二二〇〇迄ニ離遠セル者五
 名戰果重機關銃又ハ速射砲破壊一輕機銃又ハ重機一人員殺傷十六名被
 害調査中。

通八二六一〇

呂一Bケ七 (一九八三 三三七三 〇〇 KOKO) 佐佐 鎮 上 沖 根

内山 (金 森)

昭和廿年五月拾六日

人

緊急

五一五

受信一三〇〇
譯始一三二五

譯了一四〇九
電〇七四五六

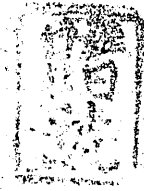
航作概本〇

昭和廿年五月拾六日

傍

一航空艦隊
淡水空基地

古仁屋空基地



機密第一五〇九〇六番電 二分ノ一

發 六三四空司令

水爆隊戰聞概報(十四日)

一、瑞雲一機古仁屋發沖繩方攻擊同二機淡水發攻擊並發進セルモ天候

不良ノ爲途中ヨリ引返ス | ヨリノ瑞雲及零式水偵進出セル

(イ) 戰果不明

(ロ) 一六三〇 一機淡水ニテ着水ノ際機體坐大破一機。

一、電信譯註 本電二分ノ一未着

通八三七一 六一六一七四六〇EG (カニヶ谷 小林(宗))

5-15

616T

五 一 五
緊 急

受信一三四五
開始一四一〇

譯了一五〇〇 電〇七四八七

作概〇
航本〇
參本

昭和廿年五月拾六日



● 天一號作戰部隊

● 小 藤 空 基 地

機密第一五一二〇三番號

發 聯合艦隊參謀

(一) 本日モ〇八〇〇頃ヨリ那覇沖ニ敵ヲシキリ一五隻現ハレ哨戒艇數

隻ハ海岸ニ近スキ機砲射撃ヲ行フ等ハ未ダ本格的上陸ノ氣配ナキモ

ノ如シ

(二) 一〇〇ヨリ一六機ヲ四〇一 二機行動開始。

通八三四七 呂一Bケ七 (七八七五K) 一KFGB放 富永 (河田)

5-15

受信一六四九〇 譯了一七五〇 電〇七四九八 作本〇

至 急



第一機動基地航空部隊 戰術情報着信箇所

機密第一一三一三三三三番電

鹿屋機密第一四三二〇二番電 T F B 戦術情報開通

十四日ノ臺南機動部隊攻撃ニ於テ其ノ後判明セル戦果左ノ通

制空戦闘機一機〇七一八頃宮崎ノ一二度一四〇裡附近ニ於テ二群ヨ

リナル機動部隊ヲ發見内特空母ヲシキ一隻ノ火柱ヲ認ム 戦機隊ノ

突撃突入時刻ハ〇七〇五一〇八〇六ノ間ニシテ機戦ノ突入ニ依ル戦

果ナル事確實。

通八四〇八 呂一日ケ七 (七八七五〇) 一 H F G B 放 (彦 (阿波))

昭和廿年五月拾六日



緊急

五一五

受信一八四〇
開始二〇一〇

了二〇四二

電〇七七〇八七
作機本〇

天一號作戰部隊

小藤 航空基地

機密第一五一三三七番電 二分ノ二

聯合艦隊參謀

昨日來敵那覇沖上陸ノ氣配ニ關聯特ニ目立コトハL.C.I.ヲ以テスル口
ケツト砲射擊ナリ其ノ内一〇數隻ノL.C.I.嘉手納方面ヨリ南下中ニシ
テ三 四隻宛ノ小隊ヲ以テ那覇小嶽燈臺方面ニ近接シツツ兩舷ヨリ同
時ニ一發宛約一〇秒間隔ヲ以テ砲撃ヲ行ヒ砲聲列島ニ連續〇隊ヘ
ト沖合ニ出現シ威力ハ大ナラス攻撃終レバ適宜反轉遊弋シ逐次北方ニ
去リ消ス戰艦又ハ巡洋艦沖合ニ位置シ驅逐艦二三隻之ヲ支援ス。

通八四七一、八五〇九 月一八ケ七(七八七五知) 一五〇〇放 半澤、吉川(土谷)

昭和廿年五月拾六日

五一五 受信二〇四五 了二四〇〇 電〇〇七六二五 航作本〇



聯合艦隊司令部 東通 佐通。堤通。舞通。霞空。相模野空

機密第一五一七〇一番電 二分ノ一・二

發 五A P 參謀長

宛 G P 參謀長 軍令部第一部長 軍令部第二部長 軍務局長 航本

總務部長 / 藤本總務部長 相模工廠長

今次底層飛行場ニ對スル艦載機ノ來襲時四式阻害氣球五ヲ使用(敵機

ノ銃撃ニ依リ一機燒失三破口アルヲ以テ浮力喪失(敵機ハ急降下ニ當

リ氣球ヲ避ケテ行動氣球附近ノ被害極メテ輕微ナリシニ鑑ミ小型機ニ

對シテハ極メテ有效ナルモノト認ム渝耐久力ノ増大(敵機ニ對スル

被害防止及所取ガスノ補給法ニ關シ更ニ研究ノ要アリ

海八五五六・八五六八 呂一B 九十一(三八二) 青木(小澤時)

昭和四年五月拾六日

5-15

1923

人

五
一
三
緊
急

受信
譯始
一九
四七

譯了
二〇
二〇
電〇
七五
三四

航作
本本
機〇

昭和四年五月拾六日



第五基地航空部隊台灣方面飛行機配備基地

機密第一五二七二四番電

沖繩方面ノ戦局ハG B 電令作第二八號ノ通ニ鑑ミ各部隊ハ全力ヲ奉
グ整備及修理ヲ促進作戰可動機ノ急速増加ニ努ムベシ。

通八四九〇 呂一Bケ十一 (一一三四七) 三〇〇 (三〇〇) G B 放 菅原 (雨谷)

5-15, 16

1924

作

五
一六

受信〇二一〇一
譯始〇二一〇一

譯了〇二五五

電〇七七一
電〇七七一
一五

作
本〇

共符

天航空部隊作戰命令着信處所

機密第一五一七五八番電

二分ノ二二

機 T F B 謀長

〇九一五ノ敵機動部隊ノ執レル戦法ニ對シ當部隊第一戦法必成上兵

力配備標準ヲ左ノ如ク定ムラルルニ付各部隊ニ於テ然ルベク準備アリ度

一、臺間索敵機形雲各約半兵力鹿屋及松山紫電鹿屋

二、夜間哨戒機飛行艦隊間陸攻大部美保向上空哨戒（實動三保有五程度）

鹿屋

三、夜間攻撃機銀河重爆作戦基地美保大分又ハ大村夜間戦闘機岩川又ハ志

布志

其ノ他前ノ

運八五五八

昌一B

（七八七五七）

一 K F G B 機

尾崎、花

昭和廿年五月拾六日

5-16

天

局長	栗			
局長	山	山	山	山
A	B	K	C	小
福	天	作	作	作
部	部	部	部	部
隊	隊	隊	隊	隊

機密第一五八〇二番電

聯合艦隊參謀

(一) 本日ノ來襲狀況モ T B F ヲ主トシ且低調ナリ來襲延機數三四 (T B F 四 F 四 U 四 F 四 F 二六)

(二) B 二 (ニユーメキシコ型子機ノ型) 南方ヨリ出現口區ニ向ヒツツアリ之ヲ併セテ口區 B 四トナル。

二八七〇六 呂一 B 七 (七八七五) 一 K F G B 小森 (雨谷)

五一六 受信〇二三二 譯了〇三五五 電〇七六八四 航本

航空基地

昭和廿年五月拾六日

5-17

人

五 一七 受信〇〇九三〇 譯了〇九三二 電〇八四〇二 作概〇 參本



佐領區敵情着信處所



久米島見張所

機密第一五一八五〇番電

本日鳥島敵上陸部隊ハ同島中央以西ノ爆破作業ヲ續行中
驅逐艦二隻砲戒艦四隻砲戒中ナリシモ午後北東視界外ニ去ル

通九艦八二 才一五 (B) 佐通 田 中 (春 日)

昭和十一年五月十八日

1927 4261 5-15, 16

五
一五 受信
一六 始 〇二五
〇一五 譯了
〇一三〇 電
〇七六二七
參作
本 櫛

昭和廿年五月拾六日



宮古島航空隊

東涌・佐通・高通

石垣島警備隊

機密第一五二〇二三番電

宛 高警長官

通報 參謀長 佐領參謀長

〇四〇五 八機双發
〇九〇〇 四機双發
一三一五 一機双發
一六三〇 一機上
一機双發
主トシテ陸海軍飛行場ヲ銃爆撃
一三二〇 B I 二九
一機上
空
通過本日ノ來襲機延四〇機
戰果ナシ被害設備隊機銃指揮官日永田少尉
傷。

通 八六三三

天二Bケ八 (四七〇五) 高通

石川 (新井)

昭和廿年五月拾六日

五一六 受備 〇〇二〇三〇〇 調了 〇三一五 電 〇七六八三 航作 本 〇

緊急

石垣 航空基地



第五基地航空部隊、菊地航空基地

機密第一五二〇三四番電

一、宜蘭發進九六爆一機（井上）燃料不足（増習不吸引）ノ爲一八〇

〇着明早朝復歸セシム

二、宜蘭發進九六爆一番機發動機故障ノ爲途中ヨリ引返ス 全機（三

機）一八二〇着着陸區後上空旋回中ノP六P一 二四機ノ攻撃

ヲ受ケ三番機炎上人員異狀ナシ

三、九六爆二機（本、竹下）明十六日〇四三〇發進沖繩周邊敵艦船特攻

攻撃實施致度

通八六六九 白一〇九十一（三七八二、五七） 三PGB 小塚寺（雨谷）

5-15

1929

作

五 一五
受備二二〇〇
開始〇一〇〇五

譯了〇一四五 電〇七六五五

作概〇
航本

至 急

共

符

一機動基地航空部隊天戰國極報着信燈所

機番第一五二〇〇〇番電

戰國極報 其ノ三

一五二〇〇〇(天候復、待才彩雲三機一五〇〇發進都井脚一
〇六度一七三度二二〇度國內、對機動部隊來敵實施一六〇〇都井
脚一五七度一四〇度ニテ停上潜水艦一隻發見七ノ外敵見不。

通八六〇五

品一〇

(七八七五KG)

一KPOB放

加賀(上野)

昭和四年五月拾六日

至 五 一六 急

受領開始 〇〇三〇〇

譯了 〇七一九

電 〇七八二八

佐 樞



東京通信隊・聯合艦隊司令部・掃一五
宮古島警備隊・沖根

高 雄 通 信 隊 石 垣 皇 警 備 隊

機密第一五二三一〇番電 三分ノ一

十五日戰報

一〇六四五ヨリ一七四五迄敵戰機聯合四乃至一二機五次ニ互リ延三五

機機木吉方ヨリ侵入陸海軍飛行場餘爆撃、為北東ニ退去 戦果撃破

三機 被害九六式機爆一機炎上

二左ニ墜ミ紫電 機急速警方面ニ進出制空機獲得ノ上敵聯合機動部隊ヲ

撃滅スルハ沖繩戦ノ勝因ナリ。

一電信譯註 本電三分ノ二三未着

通八七七八

天二B々六(四七〇五)直通

伊藤(松山)

昭和廿五年五月十六日

5-17

五一七

受信〇〇二〇二
譯始〇四三〇〇

譯了 一〇四〇 電 〇八四二八

作 概

昭和廿年五月拾八日

至 急



高雄通信隊

石垣島航空基地

東京通信隊・聯合艦隊口・沖繩根口・宮古島警備隊
佐世保通信隊

機密第一五二三一〇番電三分ノ二

把握スル最捷路ナリト信ズ

(イ)米ハ先島列島ニ有力ナル部隊ヲ常置シ至近ニ游弋ス

(ロ)僅少ナル敵機ニ制壓セラレ味方ノ索敵攻撃意ノ如クナラズ且多數機

ヲ要スル陸軍部隊ハ飛行場無防禦ナル爲飛行機ハ適時進發不能處多

一電信課註 本電三分ノ一、三既布

5-17

1932

至 五 一 七 急

受信 〇〇四二一〇八
開始 〇〇四一五

譯了 〇四四五 電 〇八二九五 作 概

石垣島警備隊

作

東通・聯合艦隊司令部、宮古島警備隊、佐通、沖根

機密第一五二三一〇番電

三分、三

(ハ) 空戦能力貧弱ナル為敵部隊ヲ攻撃スルモ 成果發揚至難ニシテ
空地下モ 味方航空兵力ノ無用ノ消耗率甚大ナリ。

（電信線路） 本電三分ノ一既配布
本電三分ノ二未配布

通九三二四 天二〇六（四七〇五）高 通 高橋（増田）

昭和廿年五月拾七日

5-16

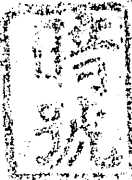
五 一六 受信〇〇六三〇
 譯始〇六四一〇
 譯了〇七一二 電〇七七八〇
 參作 本機

作戦緊急

小 藤 航 空 基 地



天一號 作戰部隊



機密第一六〇四三六番電

發 聯合艦隊參謀

○三一八敵周邊○三二〇ヨリ○三五一迄嘉手納灣及飛行場方面對空照
 射砲擊熾烈ナル中ヲ友軍機ノ攻撃スルヲ認ム戦果盛輝不詳轉沈ラシキ
 モノ一發上一〇四三五迄ノ北飛行場大火災一。

通八八一七 オ一六七八七五心一KFGB放 田中(木 下)

昭和廿年五月拾六日

5-16

昭和九年五月廿六日

五一六 受信〇九一七 譯了 一〇五五 電〇七八五一 作機〇
開始一〇三〇 航本〇

作戰緊急

喜界航空基地



一機動基地航空部隊
大島防

機務第一六〇八〇二番電

〇四五五 月六日二機來襲飛行場及部落無損擊〇五一二 二九〇度
二安山滑走路長廿一二五〇米幅一〇〇米適用可能。

編八八五五 於十六(七八七五)一六(四)放 阿部(飯田)

5-16 1935



五 一六 受信一五〇五 譯了一六三〇 電〇七九九五 作 概〇
譯始〇五五〇
緊急
小 祿 航 空 基 地



天 一 號 作 戰 部 隊

機密第一六〇八一七番電

發 聯合艦隊參謀

五月十一日以來敵ノ來襲機數ハ激減ノ一途ヲ辿リ(十一日一六七機
十五日三四機)其ノ缺ヲ滯空時間ノ延長(戰闘機ハ六時間T B Fモ
稀ニ五時間ニ及ブ)ニ依リ補ハシツツアリシガ本日來襲低調ニシテ
〇七五五ヨリT B F一 六機、F四F一 一機行動開始セリ。

通八九九二 呂一B(七八七五KC)一K F G B放 小 森(吉 田)

昭和廿年五月拾七日

5-16

一六 受信二〇二五四 譯了二一三二 電〇八一八一 整基◎

美保航空隊

東京、舞鶴各通信隊・滋賀空・鹿屋航空基地

機密第一六〇八三四番電

宛 舞鶴鎮守府司令長官 第二三聯合航空隊司令官

通報 航空本部總務部長 第五航空艦隊參謀長

特別第一報告第四號

機密舞鶴命令第五號ニ依ル美保基地整備昭化工事（橋本隧道式施設ヲ除ク）二月十五日完了ス尙追加工事トシテ滑走路西端ニ幅三〇米長サ四〇〇米ノ連絡路ヲ設置五月二十五日竣工ノ豫定。

通八九四六 呂一B分十一（B） 舞鶴 才木（松山）

昭和十年五月拾七日

5-16

1937

人

傍

五一六 受信一〇一〇一 譯了一三四〇 電〇七九三一 作 概〇

陸軍 (東通)

一六一〇八四六

發 聯合艦隊セ島參謀
宛 第三二軍ジン參謀
貴電受領GFPハ旺盛ナル調志ヲ以テ作戰ノ確立ヲ期セラレアリ切ニ
建闘ヲ祈ル。

通八八五六 協 作 (B) (GFP) 川本 (蘆 田)

昭和十年五月拾七日

通九〇三九 呂一B(一〇二六五K) 六時・五A・P 藤井(吉) 田

戰果炎上一三爆發二火災一

一電信課註 本電二分、二既配布

後連絡ヲ消息不明

一陸上攻撃機七機(五時七〇) 一式陸攻三 九六陸攻一 五七〇三

一式陸攻三(〇二一〇) 三四五沖繩北飛行場燃(五機〇八〇〇迄)

一陸上攻撃機七機(五時七〇) 一式陸攻三 九六陸攻一 五七〇三

戰報(五月十六日)

被 南部攻撃部隊指揮官

機密第一六〇九四六番電

二分ノ一



● 第五基地航空部隊戰機着信機所

● 一三航空隊隊口、天航空部隊口

至 急

● 台南 航空 基地

五 一六 受信一六二〇 開始一八四五 了二〇二〇 電〇八一四九

昭和廿年五月廿七日 本

至急

一六 受信一四五八
開始一六四〇

譯丁一七二〇 電〇八〇九二

航作概本〇

共符



一〇二戦隊

海上護衛總司令部。鎮守府。九〇一空（鎮海空基地）

機密第一六一〇〇八番電

一五〇参謀長 一〇二戦隊

一〇二戦隊機密第一五二二〇五番電返

今次ハ航空部隊ノ改編ニ伴ヒ新作戦ニ關シ打合ハスコトトシ航空
参謀通信参謀ノミヲ派遣サル。

（東通駐 新ノ個所ハ五號哨戒ノ譯モアリ）

通九〇〇四 天二Bケ一（九八三〇K）佐二放 小宮（細川）

昭和十五年五月拾七日

緊 急

五 一六
受信 一二五五〇
開始 一三五五〇

譯了 一四三〇 電 〇七九四八

航作

本機 〇

● 總無線機所用共通符號

● 喜界、串良各航空基地

● 天航空部隊作戰命令着信處所

機密 第一六一〇三五番電



T F B 信電令作第三六號

第九三一航空隊司令ハ成ルベク速ニ天山一機ヲ以テ喜界島串良間ノ輸送便ヲ設定スベシ(第七〇一航空隊司令木田大佐迎へ)

通八九二〇 呂一B々十一(七八七五K)ニKFGB放 久保田(雨 谷)

昭和四年五月拾七日

五一六

受信一七四五
開始一七四五

一八三〇
〇八〇三七

航作概本

昭和廿年五月拾七日

至急

作

● 甲本航空隊・館山航空基地

● 人事局長、吳、佐世保、舞鶴、横須賀各人事部長、指信、佐世保、美保各航空基地

機密第一六一〇四〇香電

發 戰團第三〇四飛行隊

天號作戰ノ爲館山甲本ヨリ鹿屋甲良指信佐世保ニ進出中ノ搭乗員整備員中九〇三空在籍者ニ對スル人事ハ十五日ヨリ九〇三空本隊ニ於テ處理セラル基地員名簿履歷書考査表至無御送付サレ度。

通九〇四六

呂一〇六一一 (B) 大發

(細川)

5-16-11

五 一六 受信一七四四 一七 譯了〇七四〇 電〇八三五一 航作概〇

昭和廿年五月拾八日

作戰特別緊急

五基地航空部隊

臺灣空

五基地航空部隊戰國概報着信艦所



機密第一六一二〇三番電四分ノ一

新竹攻撃部隊戰國概報(五月十五日)

一六二五 九七式艦攻二機慶良間ヨリ敵艦船特攻攻撃ノ爲發送セル

モ出發後ヨリ連絡ナク消息不明

一六四七新竹ヨリ天山一機一七一五宜蘭ヨリ天山二機沖繩周邊敵艦

船雷撃ノ爲發送宜蘭發送ノ一機ハ概ネ戰場到達豫想時刻迄連絡ア

リシモ爾後消息不明他ノ一機(分隊長機)新竹ヨリ發送セルモノ

ト途中ニテ合同進撃久米島ノ若干西方ニテ分離

電信課註 本電四分ノ三、四既配布

東 通註 本電誤字極メテ多キ爲遅延

通九〇五七 呂一Bケ一一(一二三四七、五KG)五PGB放 兒玉(小林)

5-16

8761

作戰緊急

五 一六 受信一八一六 開始一八五〇
 電電 〇〇八八一一四三
 航本 〇

昭和廿年五月拾日



五基地航空部隊

五基地航空部隊戰鬥概報着信處所

機密第一六一二〇三番電 四分ノ二三四

一九三〇慶良間列島及久米島中間附近巡洋艦又ハ大型驅逐艦五五六隻
 ニ對シ突撃ニ移ラントセルニ敵小型艦高速ニテ煙幕ヲ展張シ始メタル
 ヲ以テ攻撃斷念一九三五久米島南東五十六哩附近ニテ大型驅逐艦發見
 雷擊艇沈確實ヘ全長ノ約二倍ノ高サ迄火柱立上リ爾後空中ニ火ノ粉多
 數テリシ點ヨリ見テ滿載中ヲモノト判斷ス。同時刻先ニ敵發見位置ニ
 大火柱ヲ確認セリ宜蘭經由十六日〇六五〇歸着他ノ一機ハ久米島附近
 通九〇六八、九〇八三、九〇八六 呂一〇七十一(一一三四七五KC) 五FG放
 志澤山下
 アイ澤
 (榛澤)

ニテ分離後消息不明ナルモ歸投機ヲ確認セシメ戦果ハ本機ノ戦果ナル
 事ヲ確實ニシテ當時防禦銃火極マテ熾烈ナル點ヨリ見テ巡洋艦又
 ハ大型驅逐艦一隻撃沈後防禦砲火ニ依リ被弾自爆セルモノト判断ス
 三一七五〇月光一機中城灣在泊敵艦船爆撃ヲ爲發進セルモ途中ニテ
 動機不調トナリ官古不時着修理ノ上出發セシメタルモ修理ニ長時間
 間ヲ要セシ爲攻撃断念十六日〇六四〇歸投セリ。

（電信果註 本電四分ノ一未着）



5~16, 17

1945

昭和廿年五月拾八日

五 一七 受信二二一五〇 譯了〇二 四五 電〇八三五〇 作 概

至 急



海軍總隊口 六航空派遣通信隊 大海參一部

機密第一六一四四二番電 五分ノ二

六月末概成ハ不可能ト 認ム何レモ部隊兵器共ニ未進出ナリ 次ノ如ク

キ缺陷アリ

(一) 偽裝ニ對スル著意殆ド認メラレズ築城五島列島水平砲臺特ニ要塞地帶基地等ハ其ノ尤モ迷彩不自然ナリ

(二) 關係部隊未進出ナリ

(三) 現地海陸軍間ノ連絡一般ニ不良特ニ施設關係ニ於テ甚シク

(四) 水平砲臺ノ築城一般ニ覆土少シ洞窟ト謂フモ名ノミニシテ

電信課註 本電五分ノ三四既配布五分ノ一五未着

通九一九七 呂一Bケ十一(佐世保 久保田(川口))

5-16, 17

1946

五
一七六
受信〇二二三〇八
譯了〇二二二〇 電〇八三二五 作 概

昭和廿五年五月拾七日

至
急

作

海軍總隊
大海參一部

六航軍派遣通信隊

機密第一六一四四二番電 五分ノ三

甚シキハ露天砲ノトコロアリ又配備位置現地陸軍部隊ノ作戰計畫ト吻
合シ非ルモノアリ

(四)對馬壹岐防空火器皆無ニ近ク僅ニ對馬附近海軍十二連高角砲四臺進出
(未裝備)セルノミナリ

(六)朝鮮海峽ニ於ケル綜合防備力極メテ劣弱ナリ
之カ對策

- (1)對馬方面ニ特攻戰隊若ハ根據地隊ノ新設
- (2)對馬壹岐方面水面砲臺直掩防空火器配備。

(電信課註 本電五分ノ四ノミ既配布)

通九二一八 呂一Bケ十一 (B) 佐世保 長谷川(土谷)

5-16

五 一六
至 魚

受信二二〇〇六
開始二三〇〇六

終了二三三一

電〇八二四八

作 概

昭和廿年五月拾七日



海軍總隊
大海參一部

六航軍派遣通信隊

機密第一六一四四二番電

五分ノ四

(3) 時政及水平砲台ト共ニ速ニ部隊ヲ進出セシメ技術ト用兵トヲ明合

セシム

(4) 方面軍各領警航空艦隊ノ現地協定ノ急速實施

(5) 偽裝ニ關シ全般注意ヲ喚起スルノ外所要ノ偽裝網塗料等ヲ中央ニ於

テ準備ス

(6) 朝鮮海峽ニ對スル敵飛行艇ノ哨戒及偵察封止。

（電信課註 本電不分ノ一、二、三、五未着）

通九一九八

呂一〇ケ十一

（二二〇〇ケ）

佐通

福岡（松山）

昭和廿年五月拾八日

五 一六 受信二一〇三二〇 譯了〇〇三〇 電〇八五三七 瀬

系 急

● 六 航空派遣通信隊



● 海軍總隊 二
● 大海參一部

機密第一六一四四二番電 五分ノ五

(イ) 各鎮警ニ戰備促進班ヲ設置ス

三 小官五月十八日博多ニ於ケル佐鎮并航空艦隊中部重隊ノ控
定打合ニ參加後「鹿兒島」方面視察打合ヲ後五月末鹿島ニ歸投ノ
豫定ナリ。

一 通信課註 本電二三三四號配布
一 東通 註 本電問合セ、爲漏紙

通六二〇二二 局一四六十一(五二〇〇)佐通・笠井(小澤海)

作

極秘

第一六〇〇六 第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

第一〇〇一〇一〇 (HONORARY) 第一〇〇一〇一〇

海軍 (陸軍)

昭和十九年五月拾七日
第十回

1950 5-17

人

五、一七

受信開始 〇〇四〇〇〇

譯了 〇六〇〇 電 〇八三四四

作 藤 股

昭和廿五年五月拾八日

緊急

宮崎航空基地

傍

美保航空基地
一機動基地航空部隊

機密第一六二二五六番電

發 第七六二空司令

宛 七六二空派遣隊指揮官

通報 第五航艦參謀長

多暗號解讀防止ノ見地ヨリ當隊限戰場到達豫想時刻ヲ發信スル場
到達豫想時刻ノ「時刻」ノミヲ暗號化シ次デ發令時刻ヲ附「戰場
到達豫想時刻」ノ連送信ハ使用セザルコトニ定ム

通九三三三

呂一Bケ十一(七八七五B) 一機動基地航空部隊放長

5-17

作

至 急

五 一七

受信 ○○五 ○○

開始 ○六 ○○

了 ○九 ○○

電 ○八八七九

航作概本 ○

- 東通・聯合艦隊P・高雄通
- 佐通・沖繩根P・宮古島警備隊
- 石垣島警備隊

機密第一六二三五二番電

十六日戦闘概報

敵戦爆聯合○八五五 二九機一四五〇 二〇機來襲陸海軍飛行場

敵爆撃○六四〇 一三〇五 一六〇四 / 三次 / 四〇 (英國標識ヲ

附ス) 二乃至四機三〇十一時間半上空哨戒一五五ヨリ三〇分間

PBM一機南東海上旋回ノ後南東ニ去ル。

東通註 本電誤作成ノ爲遲延ス。

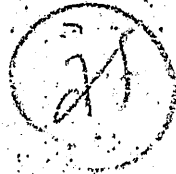
通九三七三 天二Bケ六(四七〇五KG)高道 泉川(上野)

昭和廿年五月拾八日

1952

5-17

沖繩



局長							

五 一七 受信 〇二二二一
 譯始 〇二五三
 了 〇三〇五 電 〇八二六九
 作 航 〇
 本 〇

警界航空基地

九六式陸攻一機二二四〇着海軍搭乗員二名(築波空組井少尉七二一
 空大田上等飛行兵曹)陸軍搭乗員一二名搭乗二三二四離陸セルモ二
 三三〇頃二〇差方向ニ於テ敵機ノ奇襲ヲ受ケタルモノノ如ク。

〔電信課註 本電二分ノ二未着〕
 〔東 通註 本電中ノ築波空ハ三字誤字ニテ築城空トモ解シ得〕

通九三五八 於一六(七八七五R)一KFGP放武藤(通田)

昭和廿六年五月拾七日

人

五一七 受信開始 〇〇九八三五 譯了 一〇〇〇 電 〇〇八四一三 參作 本稿

作戰特別緊急

天一號 作戰部隊

九五一空 (小祿航空基地)



機密第一七〇〇二五番電 二分ノ一、二

發 小祿警備隊長

小祿警備隊 戰鬥概報 第一〇〇號 (十五、十六日)

一、小祿地區ニ對スル銃爆撃抱撃ハ十四日ニ比シ閑散ナリシモ少數機ヲ以テ終日執拗ニ上空哨戒及攻撃セリ十五日一機十六日七機

二、第一次挺身斬込隊中其ノ後歸還セルモノ二二名 (計二七名)

戰果人員殺傷約四〇名輕機銃又ハ重機破壊一幕舎破壊三箇獲自

動小銃一手榴彈小銃彈若干

三、被害戰死准士官以上一下士官一兵五軍屬六 十三耗機銃破損一。

通 九四二一 呂一Bケ七 (九八三〇EG) 佐二放 伊原 (小澤綾)

昭和廿年五月拾八日

5-17



緊急

五一七

受信〇三三二
開始〇三二四

丁〇三三〇 電〇八三一

作概本〇

喜界航空基地

一機動基地航空部隊

機密第一七〇〇二五番電 二分ノ二

通報 六航軍參謀長

火ヲ吐キツツ海中ニ突入セルヲ認ム其ノ直後飛行場上空ニ敵機飛
來セル點ヨリ判断シ夜戦ト交戦自爆セルモノト認ム。

「電信課註 本電二分ノ一既配布」

通九三四八 於一六(七八七五) K F G B 放 翌月(小澤) 機

昭和廿九年五月拾七日

5-17

五 一七 受信〇六五七 譯了〇八五〇 電自〇八四八七 至〇八四九〇 作 參 本 機

作戰緊急

鹿屋 航空 基地

宮崎 航空 基地



天作戦部隊戦闘概報着信艦所

機密第一七〇三二七番電 四分ノ二三三四

七六二部隊戦闘概報第六七八號一五月十七日

沖繩泊地附近敵艦船攻撃

一、七、重爆四機一照明一雷装三、一八五〇 七、重爆三機一照明一雷装

二、一九三五五〇一銀河六機一照明二雷装四、一九五〇 夫々宮崎

地發進第七戰隊照明一機發動機故障ノ爲引返三機二一五〇、一二二〇五

何レモ北中飛行場沖ニ於テ各種不詳ニ對シ無照明雷機効果不明九八戰

隊一機發動機故障引返二機二一〇八地點「コソコ」ニ於テ敵機動部

隊ヲシキ反射波ヲ電波探信機ニ依リ探知一機照明一機突撃トルモ何レ

通 九三九二〇 九三九五 呂一Bケ七一七八七五K 一KFG B放 大内(新井)

昭和廿五年五月拾八日

七艦影ヲ認メ引返ス五〇一 一機故障ノ爲引返ス五機（内二照

明）二二四〇一二三一六北中飛行場沖ニ於テ照明一指揮官機（照明

）二二三一六命中火柱一ヲ認ムニ番機二三一四巡洋艦ニ對シ雷撃命中

確認他ノ二機ハ突撃ヲ報ゼル後感度ナシ〇一五〇迄ニ重爆全機銀河

三機宮崎着

三 被害重爆一機被弾胴體着陸大破輕傷一名銀河三機（指揮官機村井大

尉ヲ含ム）未歸還二機被弾

三 四 屋久島西方及戰場附近敵夜戰跳梁ス

（四）戰場附近煙幕ヲ展張目標識別困難ナリ。

5-17

人

緊急

五一七

受信一二三〇
譯始一二四〇

譯了一四二九

電〇八五二五

作概〇
本

昭和廿年五月拾八日

小祿航空基地

天一號作戰部隊

機密第一七〇七三九番電



發 聯合艦隊參謀

(一) 〇七〇〇口區B三(メリーランド型ニューメキシコ型テキサス型)〇

二〇二〇ト約六〇隻糸滿沖〇二〇二

口〇六三〇ヨリTB型一六ト四U三行動開始

自夜半神山島沖炎上ヲ續ケン艦船ハ〇一五〇ニ至リ火災消滅セリ。

通九五二一 呂一Bケ七(一一三四七、五KC)五PGB放筒井(小林)

5-17

五 一七 受信一四二三 譯了一五三八 電〇八五二九 作概〇
譯始一五〇一

小 祿 空 基 地

天 一 號 作 戰 部 隊



機密第一七〇八四三番電

發 G P 參 謀

口區所在艦船ニ戰艦「ニユール」ヲ追加之ヲ併シBノ數
合計四隻トナル

通九五九〇

品一B々七(七八七五KO)一KFGB放

伸榮(島田)

昭和廿年五月拾八日

5-17

1959

五一七

受信一六〇三五

譯了一六三〇 電〇八五九六

航作本

昭和卅五年五月拾八日



指宿航空基地

第五航空隊隊口。小富士、古仁屋、詫間各航空基地

機密第一七〇九三一番電

發 三〇二分隊長

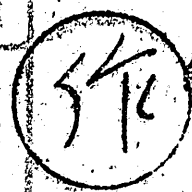
挺身連絡瑞雲一機（東海林少尉）〇五四〇歸投行動概要〇二〇〇古
仁屋離水〇三〇〇頃「ミスト」ノ爲機位ヲ失シ沖繩ニ到達セズ他ノ
瑞雲一機觀測機一機ハ〇一三〇頃古仁屋離水セシモ通信連絡不良ノ
爲行動

通九六九〇 於十六（九八三〇時）佐二放 山本（雨谷）

5-17

緊
急

五一七
受信
開始
一九五〇
〇〇
歸了
一三一〇
電
〇八四五
〇
作
概



天航空部隊作戦命令着信機所

機密第一七〇九三九番電

發
G F 參謀

ト七七〇〇〇區B三(メリーランド型)ニ
ニ五ノタキシコ型一守キオス型)ト
〇二〇二〇約六〇隻系滿沖〇二〇二
〇〇六三〇ヨリトB一六四〇三行動開始
〇〇
自夜半神山島沖ニ炎上ヲ續ケン艦船ハ〇一五〇ニ至リ
火災消滅セリ

通九四八五
呂一Bケ七(七八七五KC)一KFG B放
長谷川(榛澤)

昭和七年五月拾八日

5-17

1961

南島

休

緊

五 一七 受信一四四四 譯始一五二三 譯受了一二五五 一四六四 電一〇八一四 作 機

局長	一	二	三	四	五	六	七
一	二	三	四	五	六	七	八
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四
二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二
三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十
四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八
四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六
五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四
六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二
七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十
八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八
八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六
九十七	九十八	九十九	一百				

五基地航空部隊戰團編報着信態所

機密第一七一〇三五番 二分ノ一

新竹攻撃部隊戰團概報（五月十六日）

一、一六四五彗星二機飛良間列島周邊（一符字受信機）薄暮時攻攻

撃ノ爲發進一機一七二五（發動機故障）發進後一機一七二〇以

後連絡ナク現在迄消息不明

三、一六〇〇及一七〇〇天山各一機沖繩（以下六符字受信機）爲宣

前ニ不時着

（電信誤読 本電二分ノ二既配布）

九五九三 呂一七二一（一三三四七。五五）五PGB放 長井（海瀬）

昭和廿年五月廿七

5~17

1962

五 一七 受信一五一二 譯了一七五五 電〇八六二一 作 概

緊急



五基地航空部隊指揮官

五基地航空部隊戰團概報着信處所

機密第一七二〇三五番電 二分ノ二

一機二〇一〇渡名喜島東方ニテ巡洋艦ヲ發見雷撃效果ナシ 何レモ 十七日〇七〇〇歸着

三一七四五月光一機中城灣在泊艦船爆撃ノ爲發進セルモ發動機不調ノ爲宮古不時着攻撃ヲ斷念十七日〇六三〇歸着。

電信機誌 本報二分ノ一未着

五九六一二 呂一Bケ一一(一一三四七、五RC)五RQB放 福島(川口)

昭和廿五年五月拾八日

5-17 196T

停

五 一 七

局長	受信	八六二八
一課長	始信	八六二九
A	八六	參作
B	八六	本
C	八六	〇
D	八六	〇
E	八六	〇
F	八六	〇
G	八六	〇
H	八六	〇
I	八六	〇
J	八六	〇
K	八六	〇
L	八六	〇
M	八六	〇
N	八六	〇
O	八六	〇
P	八六	〇
第六航空隊	派遣通信隊	

昭和廿五年五月拾八日

第一機動基地航空部隊各航空基地・海軍總隊口・第七基地航空部隊
 大海參一部

機密第一七二二一〇番電 二分ノ一、二

第八飛行師團六航空軍司偵及同方面ヨリ報告區々ナルモ沖繩周邊艦船綜合
 左ノ如シ

嘉手納沖特空母二B一C二T大五〇小艦船約五〇伊江島南側T大九小艦
 船一五西側特空母二CD若干名護衛T一〇糸満小艦船一五中城灣C三D
 三其ノ他十隻(斐川)D二W五(慶良間列島)特空母一B一C一D二九T一四其
 ノ他十數隻飛行艇約五〇久米島東北三〇特空母二CND西北東進前島
 與此特空母三B二D七北上進。
 通北六六八・九六五六 船一B一C一D一E一F一G一H一I一J一K一L一M一N一O一P一Q一R一S一T一U一V一W一X一Y一Z一
 未光(藤田)

5-17

1964

人

五 一七

受信 一四四〇七

一五一五

電 〇八五一五

作 機 〇

昭和卅五年五月拾八日

作戰要旨

五基地航空部隊作戰命令着信鑑察

五基地航空部隊



機密第一七二二一五番電

第五基地航空部隊司令部第一二四號

明十八日第五次櫻作戰ヲ實施ス零戰隊偵察隊ハ令ナクシテ左ニ依リ

作戰スベシ

一零戰隊宜蘭石垣可動全力各指揮官所定ニ依リ黎明發進地點「ヌヤ

四エ」ヲ中心トスル四〇渾圈內索敵攻撃

二偵察隊彩雲二機〇五三〇發進地點「ヌヤ四エ」ヲ中心トスル六〇

渾圈內索敵並ニ戰果偵察

通九五七八

呂一Bケ一一

一一三四七

五〇〇

信井(小澤あ)

5-17

五 一七

受信一六三〇五
譯始一六三〇五

譯了一七〇八

電〇〇八五九二

航作 本概〇

緊 急



第五基地航空部隊作戰命令着信艦所

第五基地航空部隊 F

機密第一七一二一九番電 二分ノ一、二

第五基地航空部隊電令作 第一二五號

中練隊ハ本月明期間左ニ依リ任務ニ就キ泊地敵艦船特攻攻撃ヲ實施スベシ

一、第一次八機十八日以降成ルベク速ニ宜蘭石垣中繼宮古進出機ヲ見テ夜

間特攻攻撃第二次以後ノ進出ハ其ノ都度特令

ニ攻撃目標敵輸送船驅逐艦巡洋艦

三、宮古基地指揮官ハ中練隊宮古進出以後宜蘭石垣零戰隊各指揮官ハ中練

隊當該基地着後次基地進出迄之ヲ指揮スベシ

四、中練隊進出順序ヲ二十番機裝機六番四機裝機ノ順トス。

通九五八二・九五九四 呂一〇六一一(一一三四七五KC)五NGB放

仲樂具 一福田

五二七

至 意

受信一七〇〇
開始一七〇〇
譯一七四〇
電〇五五九四

作機
六〇

昭和四年五月拾八日



天航空部隊作命着信機所

機密第一七一三三一番電

發 中 隊 B 參謀長

沖繩周邊艦船夜間攻撃ニハ左ノ點ヲ特ニ留意セラレ度

(イ) 敵ハ我ガ攻撃隊近接前煙幕ヲ展張攻撃ヲ困難ナラシムルヲ以テ最

攻撃容易ナルモノヲ選定ス

(ロ) 集團ト同時殺到スルコトナク逐次單機又ハ小數機ヲ以テ終夜ニ亘

リ攻撃ヲ續行

(ハ) 進襲航路ハ常ニ東海ニ一定スルコトナク分進セザルコト敵夜襲ハ

喜界島ト相互ニ附近ヲ東西ニ警戒シアルモノノ如シ。

東通註 (イ) 項末尾「分進セザルコト」ハ「分進セシメラレ度」トモ解シ得

九六三一 呂一Bケ七(七八七五RC) 一KFGB放 岡野(渡瀬)

5-17

五 一七

授信一七三〇五

了二八四五

電〇八六六一

參作本概

昭和廿年五月拾八日



機

機動基地航空部隊天敵機報着信盤所

共

符

機密第一七一三三五番電 二分ノ二

丁 日 敵 機 概 報 (十七日一二〇〇)

十六日夜間銀河二機重爆五機泊地艦船攻撃陸攻二機沖繩飛行場攻撃
 子實施銀河二二四〇一二三一六北中基地沖ニ於テ一機巡洋艦ニ對シ
 雷命中確認一機艦種不詳雷命中火柱ヲ認ム他ノ二機突撃ヲ報ゼ
 ル後感度ナシ重爆三機二一五〇二二〇五北中基地沖ニ於テ艦種不
 詳無照明雷撃(小島機故障)効果不明重爆二機二一〇八黒島ノ二三
 五度八〇哩ニテ敵KDBラシキ反射波ヲ探知一機照明一機突撃セル
 毛艦影ヲ認ズ引返シ陸攻二機飛行場爆撃セルモ效果不明
 三重爆敵KDBラシキ反射波探知ノ報ニ依リ十七日黎明彩雲二機ヲ以
 通 九九六六八 月一Bケ七(七八七五KG)一KFGB放 久保田(猪狩)(一)

テ東海ノ索敵ヲ實施セルモ敵ヲ見ズ

三 南西諸島へ陸攻一機一喜界島基地間遊身輸送ノ爲發進二二四〇喜界

島差不時搭乗員海軍二名陸軍十二名搭乗二三二四離陸セルモ敵夜

戰ノ奇襲ヲ受ケ之ト交戦自爆。

(H)

5-17 696T

昭和廿五年五月拾八日

五 一七 受信一八七五〇 言了一九三〇 電〇〇八八七五二 課 通

作戦緊急

共 符

天航空部隊戦術情報着信艦所
喜界航空基地

大島航空基地

密第一七一四一一番電 二分ノ二

T F B 特情報 (五月十六日)

(イ) 沖繩周邊掃海部隊指揮官ハ全掃海艦艇宛彈藥搭載附近補給艦ヨリ糧食
被服需品醫療品ノ搭載ヲ下令セル電話ヲ傍受セリ掃海艦艇ヲ他ノ水域
ニ作戦ノ算アリ

(ロ) 二 三日 前 R U ナ出航セル輸送船團アリ

(ハ) P D A 方面艦艇集中ノ状況アリ

(ニ) 十六日 機動部隊關係艦所宛緊急信七通送信活激ナル状況アリ

(ホ) 十五日 一六〇〇「ガム」放送ニテ「スブルアンス」ヨリ「ミツチャ」

九六九二 月一Bケ七(七八七五BC)一KFGB放

映化(猪) (猪) (猪)

「ターナー」宛作戰特別緊急電報一通送信ス

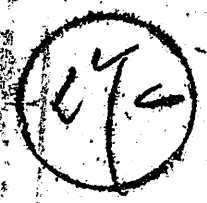
(2) 沖縄哨戒機ノ出現極ノテ活潑右ヲ綜合敵ノ機動部隊南西諸島九州方面

ニ策動ノ微アリ嚴重ナル警戒ヲ要ス

三、沖縄基地發信硫黃島カム島宛作戰特別緊急電報一通送信セリP151

及B129ノ九州地區制壓ノ企圖濃厚

作戰緊急



五一七

受信一九一七
譯始二〇〇一

譯了二〇三七

電〇〇八六四六五

航作概本〇

昭和廿五年五月拾八日

鹿屋航空基地

松山・木更津・松島・豊橋各航空基地
天航空部隊作戰命令着信艦所

機密第一七一七二六番電

二分ノ一二

第七基地航空部隊電令作第二四〇號

一、敵機動部隊ハ近日中再度九州方面ニ來襲ノ算アリ

二、攻撃第四〇五飛行隊ハ明十八日木更津ニ移動極力本隊（松島）ヨリ
器材ノ補充ヲ得テ兵力ヲ整備待機スベシ

三、偵察第一〇二飛行隊彩雲ノPT遣出ヲ特令スル迄延期ス同隊ハ彩雲
三機ヲ松山ニ空輸一七一空ニ共用替スル他全力木更津ニ於テ待機ス
ベシ

四、第七五二空司令ハ整備員五乃至六名ヲ松山ニ派遣一七一空司令ノ指
揮ヲ受ケシムベシ。

通九七三二 呂一Bケ十一 (七八七五K) 一RFGB放 安彦(阿波)

通九七三二 呂一Bケ十一 (七八七五K) 一RFGB放 安彦(阿波)